

4 新型コロナウイルス感染拡大対策の取組

新型コロナウイルス感染拡大対策のため、次の事業に取り組みました。

特別定額給付金給付事業

決算書

95～96ページ

担当

総務課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			一般財源
		国庫支出金	地方債	その他	
2年度	2,696,379	2,695,867			512

新型コロナウイルス感染拡大対策に留意しつつ、簡素な仕組みで迅速かつ的確に家計への支援を行うため、広く住民に国の特別定額給付金（1人当たり10万円）を支給しました。

【事業の実施状況】

- 補助金 2,679,600千円（26,796人分）
- 事務費 16,779千円



中小企業経営安定支援事業

決算書

154～155ページ

担当

産業振興課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			一般財源
		国県支出金	地方債	その他	
2年度	59,327	42,024			17,303

新型コロナウイルス感染拡大により、消費低迷などの影響を受ける市内中小事業者を支援するため、次の事業を実施しました。

●飲食店応援プロジェクト事業

市内飲食店を支援するため、大竹商工会議所、大竹青年会議所や大竹市料飲同業組合等の関係機関と協力して、テイクアウトできる飲食店を紹介するチラシやポスター、市内飲食店を紹介するグルメマップ等を作成し、市内飲食店のPRを実施しました。また大竹商工会議所と共同で「おおたけバル事業（市内の参加飲食店が1枚700円のチケットに対して、1,200円相当の飲食物（特別メニュー）を提供する事業）」を実施しました。

●相談員派遣事業

市内中小事業者等が新型コロナウイルス感染拡大による経営不安を軽減するため、事業者の抱える課題に対応した専門知識を有する相談員（経営コンサルタント・中小企業診断士・社会保険労務士・ITコーディネーター・グラフィックデザイナー）を派遣し相談に応じました。

●事業継続支援金事業

新型コロナウイルス感染拡大により事業状況が悪化した、市内に事業所を有する中小事業者等の事業継続を支援するため、令和2年2月から12月までの期間のうち、いずれかの1か月間の事業収入が前年の同月の事業収入と比較して30%（小数点以下切り捨て）以上減少し、その減少額が10万円以上の事業者に支援金を交付しました。

●雇用調整助成金受給サポート支援金事業

雇用の安定及び事業活動の継続を図るため、新型コロナウイルス感染拡大により経営が不安定となっている状況においても、労働者の雇用の維持を図ろうとする市内の中小企業者が、雇用調整助成金の申請を社会保険労務士に委託した場合に、その委託料を補助しました。

●感染強力防止金事業

広島県と連携し、新型コロナウイルス感染拡大対策に伴う緊急事態措置期間中（令和2年4月22日から5月6日まで）に休業等の要請に全面的に協力をいただいた中小企業者等に対し、支援金を支給しました。

●頑張る飲食事業者応援事業

広島県と連携し、第2次新型コロナウイルス感染拡大防止集中対策に基づく「飲食の場、飲酒の場における対策」の影響を受けて、売上が減少した飲食事業者（飲食店等）に対して支援金を支給しました。

【事業費の内訳】

○委託料	5,344千円
○需用費	221千円
○役務費	1,050千円
○負担金	11,112千円
○補助金	41,600千円

※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当しています。

商工振興事業

(クーポン券発行等事業・キャッシュレス推進事業)

決算書

154～155ページ

担当

産業振興課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
2年度	282,857	261,746			21,111

新型コロナウイルス感染拡大により、消費低迷などの影響を受ける市内中小事業者を支援するため、次の事業を実施しました。

●クーポン券発行等事業（コイちゃんクーポン事業）

新型コロナウイルス感染拡大により落ち込んだ地域における消費を喚起することを目的として、クーポン券（コイちゃんクーポン）発行等事業を実施しました。クーポン券は、市民1人10,000円分（1枚500円×20枚 ※10枚は中小事業者のみでしか使用できません）のクーポン券を配布しました。

●キャッシュレス推進事業

新型コロナウイルス感染拡大対策（新生活様式への対応）として、市内事業者及び市民のキャッシュレスの推進を行うとともに、落ち込んだ市内消費を喚起するため、キャッシュレス講座とPayPayポイント戻し事業を実施しました。

※PayPayポイント戻し事業：令和3年1月1日から1月31日までの1か月間に、市内でPayPayを使ってキャッシュレス決済した場合に、1回あたりの支払額の20%分をポイント（上限1,000円分）で戻し、最大5,000円分のポイントを戻しました。

【事業費の内訳】

○委託料	273,829千円
○需用費	693千円
○役務費	8,335千円

※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当しています。

地域公共交通整備事業

決算書

94ページ

担当

自治振興課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
2年度	5,880	5,880			1,288

新型コロナウイルス感染拡大の状況においても地域の移動を支え続ける運行事業者へ支援しました。

【事業の実施状況】

○ 新型コロナウイルス感染拡大対策に係る費用に対して補助しました。

地域公共交通事業者支援補助金 1,288千円

○ 公共交通としてのタクシー事業の運行を維持するため、新型コロナウイルス感染拡大により売上が減少しているタクシー事業者に補助しました。

タクシー事業運行維持給付金 5,880千円

※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当しています。

感染症対策支援事業

(介護予防活動グループ・介護サービス事業者支援補助事業)

決算書

110～111ページ

担当

地域介護課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
2年度	2,295				2,295

地域リハビリテーション活動支援事業やいきいき百歳体操を行う介護予防活動グループ及び介護サービス事業者に対し、マスクや消毒液の購入など新型コロナウイルス感染拡大対策に要した費用について支援しました。

【事業の実施状況】

- 申請団体等 介護予防活動グループ 45団体（1団体あたり上限30千円）
介護サービス事業者 14法人（1法人あたり上限100千円）

感染症対策支援事業

(障害福祉サービス等事業者・地域生活支援事業者支援補助事業)

決算書

109ページ

担当

福祉課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
2年度	1,287	525			762

大竹市で障害福祉サービス等事業、地域生活支援事業を運営する法人に対し、衛生用品の購入費など新型コロナウイルス感染拡大対策に要した費用について支援しました。

【事業の実施状況】

- 申請法人 障害福祉サービス等事業 8法人（1法人あたり上限100千円）
地域生活支援事業 4法人（法人が運営する1事業所あたり上限100千円）

子育て世帯臨時特別給付金

決算書

115ページ

担当

福祉課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
2年度	30,894	30,894			

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている子育て世帯の生活を支援するため、児童手当の受給者を対象に臨時特別給付金を支給しました。

○支給対象 令和2年4月分の児童手当の受給者

○給付額 対象児童1人につき1万円

【事業の実施状況】

○子育て世帯への臨時特別給付金 2,942人 29,420千円

○事務費等 1,474千円

障害児通所給付事業

決算書

115ページ

担当

福祉課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
2年度	341	335			6

新型コロナウイルス感染拡大対策による特別支援学校等の臨時休校等に伴い、放課後等デイサービスの利用料の負担が増大している家庭に対し、利用料を支援しました。

【事業の実施状況】

○扶助費 341千円

ひとり親家庭等臨時特別給付金

決算書

115ページ

担当

福祉課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
2年度	9,700				9,700

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けているひとり親家庭等を支援するため、児童扶養手当の受給者を対象に臨時特別給付金を支給しました。

○支給対象 令和2年3月、4月分または5月分の児童扶養手当の受給者で令和2年4月30日時点で市に住民登録のある方

○給付額 1世帯につき5万円

【事業の実施状況】

○ひとり親家庭臨時特別給付金 194世帯 9,700千円

支援対象児童等見守り強化事業

決算書

115ページ

担当

福祉課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
2年度	1,286	1,286			

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて子どもの見守りの機会が減少し、児童虐待のリスクが高まっているため、子ども食堂や子どもの見守り体制を強化するための支援をしている団体に対し、補助金を支給しました。

【事業の実施状況】

○支援対象児童等見守り強化事業補助金 3団体

とりで食堂 (NPO法人とりで)	697千円
つどいの広場 (一般社団法人つどいの広場)	399千円
カレーの日 (おひさまみかんちゃん)	190千円

緊急包括支援事業（児童福祉施設等）

決算書

119ページ

担当

福祉課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
2年度	2,475	2,475			

大竹市で児童福祉施設を運営する法人に対して、衛生用品や備品購入費など新型コロナウイルス感染拡大対策に要した費用について支援しました。

【事業の実施状況】

- 対象施設 玖波保育所、知恩保育園、ひまわりさかえこども園、たけのこ保育園、たんぼぼ園、阿多田保育園、病児・病後児保育室
- 補助額 2,475千円

ひとり親世帯臨時特別給付金

決算書

119～120ページ

担当

福祉課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
2年度	28,721	28,721			

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けているひとり親家庭等を支援するため、児童扶養手当の受給者を対象に臨時特別給付金を2回支給しました。

- 支給対象 ①令和2年6月分の児童扶養手当の受給者
- ②公的年金等を受給していることにより令和2年6月分の児童扶養手当の支給を受けていない方
- ③新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて家計が急変し、収入が児童扶養手当を受給している方と同じ水準になっている方
- ④令和2年12月11日時点で、①～③のいずれかに該当する方(再支給分)
- ⑤①②の方で新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて家計が急変した方

- 給付額 ①～④1世帯につき5万円、第2子以降1人につき3万円 ⑤1世帯につき5万円

【事業の実施状況】

- ①～④386世帯 25,480千円 ⑤55世帯 2,750千円 ○事務費等 491千円

医療体制支援事業

(地域の感染状況等を踏まえたきめ細かい医療提供体制等構築事業)

決算書

126ページ

担当

保健医療課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
2年度	16,843	16,843			

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている市内医療機関等に補助を行い、医療体制の確保を行いました。

【事業の実施状況】

・大竹市医師会と協力して、院内感染を防ぎながら、発熱患者等への診察が適切に行えるよう、発熱患者等とその他の患者の混在を避けるために必要な経費等に対して補助しました。

・大竹市歯科医師会と協力して、院内感染を防ぎながら、患者への診察が適切に行えるよう、感染防止に必要な経費等に対して補助しました。

○対象内科診療所 12件 (一件あたり上限1,000千円)

○対象歯科診療所 12件 (一件あたり上限 500千円)

※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当しています。

予防接種推進事業

(ワクチン接種体制確保事業)

決算書

127～128ページ

担当

保健医療課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
2年度	5,531	5,531			

新型コロナウイルス感染症に係るワクチンの接種について、予防接種法の臨時接種に位置付け、予防接種を実施するための体制を確保しました。

【事業の実施状況】

・人員体制の整備、備品や消耗品等必要物品の購入、接種券等の印刷、ワクチン保管管理体制の構築等医療機関による接種体制の確保、予防接種台帳システム改修や、広島県一括相談窓口コールセンターの設置費の負担などにより、令和3年度の実施に向けて準備しました。

○報酬等 1,418千円

○需用費 1,435千円

○役務費 25千円

○委託料 1,347千円

○備品購入費 930千円

○負担金 376千円

感染症予防事業

(新型コロナウイルス感染症疑い患者搬送車両整備事業)

決算書

129ページ

担当

保健医療課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
2年度	3,961	3,961			

大雨や台風などの災害時に、新型コロナウイルス感染拡大対策を図るための患者等の搬送ができるよう、車両を整備しました。

【事業の実施状況】

・車両の特徴 車内感染リスクの低減に配慮し、遮蔽設備、空調設備などの特殊架装を施しています。

○備品購入費 3,961千円

妊婦乳幼児健康診査事業

(乳児一般健康診査臨時受診券事業)

決算書

133ページ

担当

保健医療課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
2年度	184				184

新型コロナウイルス感染拡大対策として、集団による乳児健診の開催を中止したことに伴い、医療機関での個別健診の機会を設けることで、乳児の健全な発育を支援しました。

【事業の実施状況】

・対象者45名のうち受診者29名（受診率64.4%）

○通信運搬費 4千円

○健康診査実施委託料 180千円

出産育児応援給付金給付事業

決算書

133ページ

担当

保健医療課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
2年度	14,117	14,116			1

新型コロナウイルス感染拡大により影響を受けている子どもがいる家庭への経済的負担の軽減を図り、安心して出産できるよう支援しました。

【事業の実施状況】

令和2年4月28日から令和3年3月31日までに生まれた子ども一人あたり10万円を給付しました。

- 役務費 17千円
- 補助金 14,100千円 (141名)

※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当しています。

休日診療所運営事業

決算書

135～136ページ

(医療機関における感染拡大防止等支援事業)

担当

保健医療課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
2年度	1,146	1,050			96

【事業の実施状況】

休日診療所において、新型コロナウイルス感染の疑い患者とその他の患者が混在しない動線を確保することを目的として、発熱患者専用の診察室(休日診療所と別棟)を構築すると共に、院内等での感染拡大を防ぐためのHEPAフィルター(※)付空気清浄機を導入しました。

また、新型コロナウイルス感染拡大の状況において、休日診療所に勤務することは、相当程度心身に負担がかかることが想定されるため、医療従事者に対して慰労金を給付しました。

※HEPAフィルター：高性能フィルター

小・中学校管理運営事業 (学校保健特別対策事業)

決算書
186、188～189、191、206ページ
担当
総務学事課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
2年度	8,298	4,024			4,274

新型コロナウイルス感染拡大の影響が長期化する中、学校での教育活動を円滑に継続するために、小・中学校における感染拡大対策に必要な保健衛生用品や備品の整備を行いました。

【事業の実施状況】

学校再開に伴う感染症対策 7,702千円
感染症対策のためのマスク等購入支援事業 596千円

放課後児童クラブ運営事業 (臨時休業時対策事業・感染拡大対策事業)

決算書
195～197ページ
担当
生涯学習課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
元年度	1,940	1,562			378
2年度	3,827	3,370			457

新型コロナウイルス感染拡大に伴う小学校の臨時休業により、4月17日から5月31日までの間、平日（月～金曜日）の開所時間を前倒し（午前8時から開所）しました。
また、新型コロナウイルス感染拡大対策のために必要な物品を購入しました。

【事業の実施状況】

○臨時休業時対策事業費 人件費（報酬、期末手当、社会保険料、費用弁償） 2,374千円
その他（需用費等） 227千円
○感染拡大対策事業費 消耗品費（超音波噴霧器用次亜塩素酸水溶液、ハンドソープ、除菌用アルコール等） 1,191千円
備品購入費（空気清浄機） 35千円

給食センター運営事業 (学校臨時休業対策事業)

決算書
210ページ
担当
総務学事課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
2年度	1,970			982	988

新型コロナウイルス感染拡大対策のため、小・中学校の臨時休業に伴う、学校給食休止に係る食材のキャンセルに対する必要経費分について、納入業者に補償を行いました。

【事業の実施状況】

令和2年3月休業分 1,311千円
令和2年4月17日～5月21日休業分 659千円